



もくじ

■表紙 吉見小学校 金管バンドの練習風景

「地域とともにある学校」への転換をめざして（教育長コラム）	1
氷上回廊水分れフィールドミュージアムリニューアルオープン／ 学校給食費納付のお願い	2
地域と学校が一体となって「地域とともにある学校」をつくりました！	3・4
タブレットパソコン貸与式／TOPICS	5
行政・教育アドバイザー活動報告／認定こども園と小学校の連携	6
ラストページまで駆け抜けて／アニメサザエさんとともに50年	7

「地域とともにある学校」への 転換をめざして



教育長 岸田 隆博

丹波市教育委員会では、「地域とともにある学校」づくりをここ数年取り組んでいます。具体的な取組として、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むコミュニティ・スクールを推進しています。

大阪大学の志水宏吉教授は、確かな学力をほぐくむのは、子どもたちの学習習慣や学習意欲を引き出す豊かな社会環境だと言われています。つまり、周囲の人たちとの良好な人間関係こそが、子どもたちの学力を確かなものにする鍵だということです。古い言葉に「碎琢（そつたく）同期（ま）たは碎琢同機」という四字熟語があります。鶏の雛が卵から生まれ出ようとすると、殻の中から卵の殻をつついて音をたてます。これを「碎」と言います。そのとき、すかさず親鳥が外から殻をついばんで破る、これを「啄」と言います。そしてこの「碎」と「啄」の動きがうまくかみ合った時、殻が破れて雛が産まれるわけです。皆さんも心当たりがあると思います。小さい時、親に自転車を

そっと押してもらうことによって補助輪なしの自転車で乗れるようになったり、先生にそっとお尻を支えてもらうことで逆上がりのコツが分かったりしたことがあると思います。

身近な他者の的確なサポート・援助こそが、学習の成功の鍵になります。

子どもたちは、多様な他者と触れ合うことを通じて、安心して生活することができ、ほめられたり評価されたりする中で、自分の「よいところ」に気づいていきます。教師だけでなく、地域の人とかかわりがあり、祖父母や家族との触れ合いがある地域性が子どもたちの「力」につながっていると考えます。

またその一方で、子どもたちは、地域から恩恵を受けるだけの存在ではなく、地域のつながりを新たに作り出すきっかけとなる存在であると再認識することも必要ではないでしょうか。子ども「と」つながることができることを通じて、子ども「で」つながることができたり、さらには子ども「が」つながれたりするといったことも十分にあると思います。これからも、学校・家庭・地域がそれぞれ手をつなぎ、次世代を育てることを通じて、一人ひとりが地域とのかかわり方を考えたり、地域とのかかわり方を子どもに考えさせたりしていくことが、足元を見据えた教育だと考えています。

しかし、実際はどうでしょうか。学校と地域の方の認識や考え方が違うことはありませんか。表

面的には地域連携が進んでいても、実際には、お互いの負担感や不満がたまっていることはありませんか。

学校と地域が連携して何かに取り組む際には、「なぜその取組を行うのか？」という、その取組にかかわる人々の思いと、「どうやってそれを行うのか？」という手段・方法について、しっかりと協議を行い、事前に共有しておく必要があります。そこで大切になるのは「協働」という考え方です。「協働」とは、同じ目的のために、対等の立場で共に働くことという意味です。「協働」による活動は、共通の目標を設定するとともに、地域住民にとって「学び」の観点が含まれることが重要であり、そのために対等な関係づくりが必要となってきます。

これからの学校と地域の関係は、共有した目標に向かって、対等なパートナーとしての立場の下で共に活動する協働関係を構築していくことが必要です。両者は、どちらが上、下というのではなく、相互補完的に連携していく双方向性と対等性を持った関係が、これからの学校と地域のめざすべき姿です。

そのためには、学校・家庭・地域それぞれが、子どもたちの成長にかかわる当事者としての自覚と責任を持つとともに、地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかといった目標やビジョンを共有し、地域と一体となって

子どもたちをはぐくむ「地域とともにある学校」へと転換していく必要があると考えています。コミュニティ・スクールは、目標に向けて共に協働していくために非常に有効なツールです。

これからは、学校と保護者や地域の皆さんとともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えられる持続可能な仕組みを構築する必要があります。なぜなら、将来を生き抜く子どもたちに必要な資質・能力を身につけてもらうためです。子どもたちの未来は、我々の社会の延長線上にはありません。今までと同じ考えや行動のままでは活躍できません。

市民、関係各位におかれましては、「誰かが何とかしてくれる」のではなく、一人ひとりが学校や地域を創り上げていく当事者であり、担い手であることを再認識いただき、ともに子どもたちの成長を支えられる丹波市を創っていきましょう。

※引用・参考文献

木村直人, 相田康弘. 未来の学校づくり コミュニティ・スクール導入で「地域とともにある学校」へ 学事出版株式会社 2019 p16-31

教育長コラム

【教育長室から】発信中!



R3.3.20 氷上回廊水分れフィールドミュージアムリニューアルオープン

地域の皆様のご協力、ご支援を頂き、ついに氷上回廊水分れフィールドミュージアムがリニューアルオープンを迎えました。当館の展示品一つ一つに、たくさんの方々の想いが詰まっています。まず皆様を出迎えるのは、氷上回廊の模型展示で、ここでは実際に氷上回廊の地形について体験的に学ぶことができます。そして展示室の中に入ると、氷上回廊の空中散歩としてダイナミックな映像を見ることができます。ここから氷上回廊や水分れを紐解く冒険が始まります。どのようにして氷上盆地ができたのか？水分れとは何なのか？そしてこれらによってはぐくまれた自然や歴史、文化とは？子どもから大人まで、誰もが楽しめるように様々なトピックスを用意し、展示物にも最新の技術を導入しています。



また、第1回の企画展は「農業」に焦点を当て、丹波の農業や最新の農業技術を展示する予定です。そして年間10回以上のワークショップとフィールドワークを予定しています。いつ来ても、誰と来ても楽しめる博物館をめざしてまいりますので、ご来館の際にはお気軽に職員にお声掛けください。精一杯魅力をお伝えします！どんな展示になっているのか、お楽しみに！

関 文化財課 TEL 70-0819

学校給食費納付のお願い

学校給食費は、月額（1食単価×提供食数）を翌月に口座振替により納付いただいています。口座振替の前には残高を確認し、確実な給食費の納付をお願いします。

区分	学校給食費 1食単価	振替日
小学校児童	245円	振替日：翌月27日 再振替日：翌々月15日
中学校生徒	275円	(休日の場合は、翌営業日)



関 学事課 学校給食係
TEL 70-0880

(給食費の納付が困難な場合はご相談ください。)

消毒活動の呼びかけ

放課後の消毒活動のボランティアを募り消毒活動を実施しました。

感謝を示す会を開き、児童から学校運営協議会に手書きの感謝状を贈りました。

南小学校



コミュニティ・スクールだより「きずな」を発行しています。読み聞かせ等の活動紹介や学校サポーターの募集等について掲載しています。ご協力いただける仲間を増やし、学校・家庭・地域の“きずな”を深めていきます。

西小学校

東小学校



まちの
灯り
フェスティバル

町たんけん

「青垣へとび出そう！」の学習で、校区の町たんけんに行ってきました。お店や施設でいろいろなものを見せてもらったり、お話を聞いたり、質問に答えていただいたりして、新しいことをたくさん学んで帰ってきました。

青垣小学校



生郷まちの灯り

フェスティバルに鼓笛隊が出演しました。第53代鼓笛隊として初めての地域行事での演奏となり、緊張もしていましたが、持てる力を堂々と発揮することができました。

地域学校協働活動推進員になって

地域学校協働活動推進員 中村 美穂さん (西小学校)

子どもが「行ってきます」と家を出ると、ウォーキングパトロール隊の方や、教職員の方、地域の方に見守られ、「ただいま」と帰宅します。多くの人に支えられ育っています。

今の子ども達が大人になった時、地域にはあんな人がいて、先生方や友達とこんなことをして学んだなあ、心に残る協働活動をすすめていきたいと思っています。

多くの人と関わり、コミュニケーション力や、人とつながる力を身に付け、自分で考えて行動する大人になってほしいと思っています。

私たち大人も子ども達から学ぶことが多くあります。

地域学校協働活動推進員となり、多くの人とつながり、子どもも大人も学べるような活動をしていきたいと思っています。



▲児童の作品展示 (かどのの郷)



地域と学校が一体となって

「地域とともにある学校」

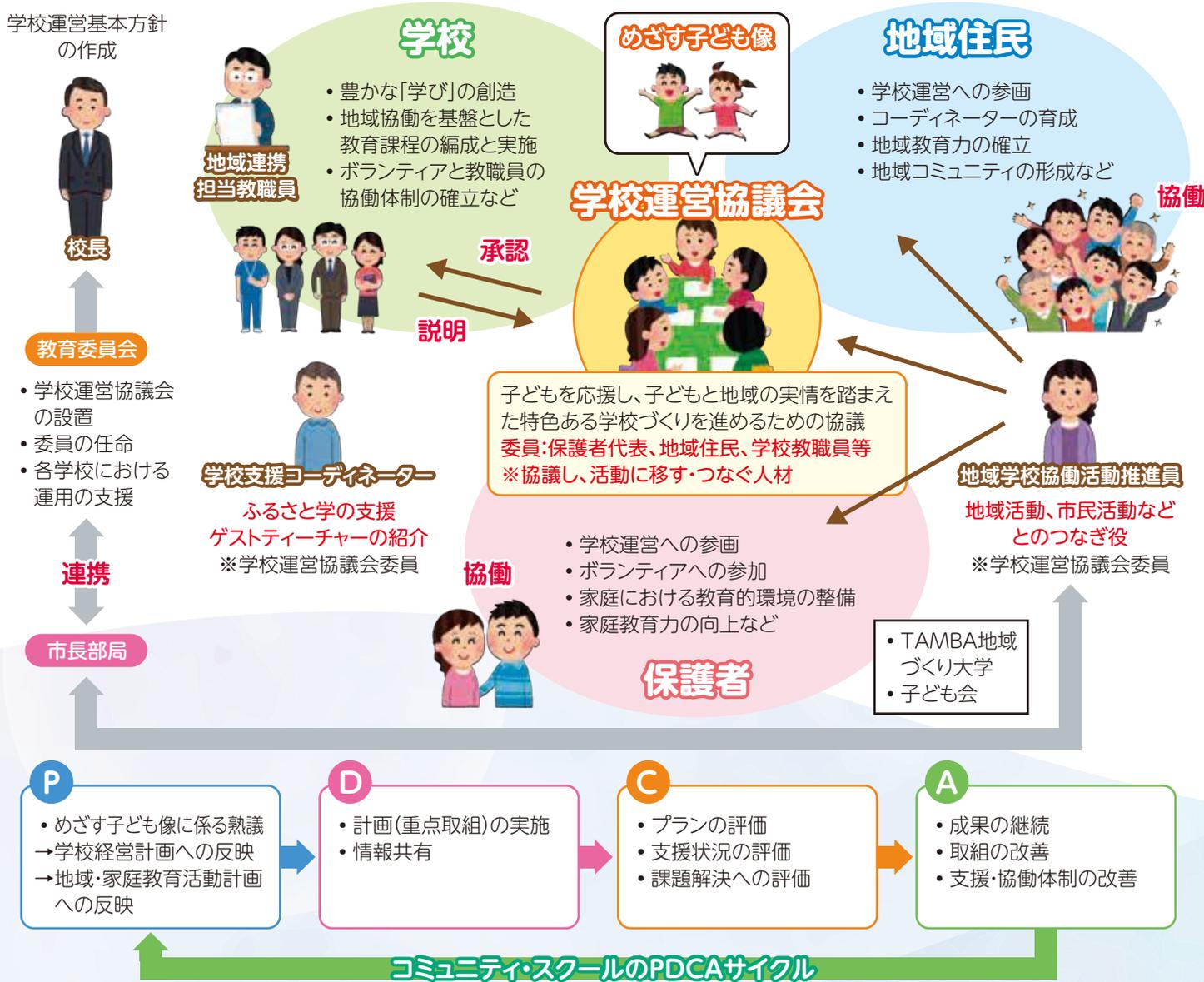
をつくりましょう！

丹波市では、学校・家庭・地域が協働し「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいます。

どのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのか、目標やビジョンを地域のみなさんと共有し、地域と学校がパートナーとして連携・協働していくため、令和2年度から、新たに地域学校協働活動推進員制度を導入しました。

地域学校協働活動推進員が地域と学校をつなぐコーディネーターとなり、保護者や地域住民の学校運営への参画を促進し、地域と学校が、より力を合わせることによって、コミュニティ・スクールのさらなる充実をめざします。

丹波市がめざすコミュニティ・スクールのイメージ



1人1台のタブレットパソコンを貸与しました！

■タブレットパソコン貸与式 ～タブレット記念日～

国が進めるGIGAスクール構想による1人1台タブレット端末の整備を受け、丹波市でも12月11日から貸与を開始し、1月中にすべての小中学校に端末を貸与することができました。

実際の活用事例

- ・ Google Meetの接続体験、Zoomを活用した生徒総会
- ・ インターネット検索による調べ学習
- ・ SKYMENU CLASSでのノート配付、回収、全体発表
- ・ 休み時間等を活用したタイピングの練習など



▲ 岸田教育長から端末を受け取る児童（船城小学校）



▲ 授業中の様子（吉見小学校）▲



令和5年度

【ステップ3】「探求」主体的・対話的で深い学び

◎主体的に自らの問題解決にICTを活用する

- ・ 様々なツールや技術を活用しながら問題を発見・解決し、自分の考えを形成します。
- ・ 情報技術の特性やセキュリティを理解したうえで、情報の適切な活用をめざします。

令和5年度までの各年度の活用目標

令和4年度

【ステップ2】「教科」学びにいかす

◎「情報活用能力」を教科の学びにいかす

- ・ 学習用のソフト等を活用し、協働して問題解決を図ります。
- ・ クラウド上での情報モラルや情報セキュリティを理解し、適切な活用をめざします。

令和3年度

【ステップ1】「日常」普段使い

◎学校生活の中で「情報活用能力」を身に付ける

- ・ 児童生徒が主体的にICTを活用できる力の習得をめざします。
- ・ 情報モラル、情報セキュリティについての基本ルールの理解をめざします。



教育委員会では、貸与した端末を子どもたちが自由に使用できる環境をつくり、自らが直面した課題に応じて、主体的にその解決策を見つけ出せる力を身に付けることも重要であると考えています。子どもたちがこれからの社会を生き抜く力をはぐくむためにICTの日常化に向けた学校・家庭でのICT活用にご理解、ご協力をお願いします。

☎ 学校教育課 TEL 70-0811

TOPICS

高齢者叙勲受章おめでとうございます

高齢者叙勲は、年齢が88歳に達した際に、叙勲の条件を満たす功労者の方に授与されるものです。

◆ 田辺 万四郎 氏（元黒井小学校長）

この度、永年にわたる学校教育活動の功績が称えられ瑞宝双光章を受章されました。

市島地域市立小学校統合是非について

令和2年11月18日の第4回市島地域市立小学校統合検討委員会において、統合の是非に係る投票を行った結果、「統合する」が多数となりました。

そして、令和3年2月12日の第5回検討委員会では、統合準備委員会設置に向け協議し、統合検討委員会としての役割を終えていただきました。



行政・教育アドバイザー 活動報告

近年、知識・情報・技術をめぐる変化の早さが加速度的となり、社会の構造や環境は大きく変化し、予測困難な時代になっているといわれています。

このたびのコロナ禍はまさに「予測困難」な事態のひとつといえます。

そんな時代を生きる教職員や小中学生にアドバイスをいただくため、本年度から高度な専門的知識と豊富な経験を有する学識者を「行政・教育アドバイザー」として招請し、学校訪問、教育委員との意見交換の実施などにより、教育行政について助言をいただいています。

ポストコロナに向けて、今こそ取り組むべきデジタル化について、また、創造性・問題解決力などを身につける教育について検討していきます。

令和2年度 主な活動状況

(令和3年1月現在)

実施時期		活動内容	活動場所
令和 2年度	7月	学校訪問	青垣小学校
	8月	教育委員意見交換	丹波市教育委員会
	9月	学校訪問	中央小学校
	10月	学校訪問	氷上中学校



▲ 学校訪問 (氷上中学校)



行政・教育アドバイザーのご紹介

カーネギーメロン大学 **金出 武雄** 教授

【主な研究分野：コンピュータビジョン、知能ロボット工学】

1945年生まれ。丹波市春日町出身。米カーネギーメロン大学ワイタカー記念全学教授。文化功労者（ロボット工学）。学士院会員。顔認証・自動運転・仮想化現実などの複数の分野への貢献のみならず、テクノロジーの先駆者として活躍されています。

☎ 教育総務課 TEL 70-0810

認定こども園と小学校の連携

「学び」をつなぐ

幼児期は遊びの中で様々なことを学んでいる時期であり、認定こども園の「遊びを通した学び」が、小学校の「学習」に滑らかに接続するようにしていくことが大切です。

令和元年度から2年間、丹波市立中央小学校と認定こども園ふたばでは、子どもたち一人ひとりの自立へと向かう力を育て、学びをつなぐ研究を行いました。小学校教員と認定こども園保育教諭が合同で授業・保育参観や研修をしたり、園児と児童が交流活動したりすることにより、授業や保育の工夫改善をすすめました。

研究成果をまとめたリーフレットは市内の小学校・認定こども園に配布し、幼児期と児童期の接続の充実に活用していきます。



▲幼小連携リーフレットと合同研修会の様子

☎ 学校教育課 TEL 70-0811



「ラストページまで駆け抜けて」

(2020 読書週間標語)

～丹波市立図書館からのお知らせ～



冬休み一日図書館員にトライ!

図書館への親しみと理解を深めてもらおうと『一日図書館員』を実施しました。小・中学生9名の皆さんは、初めての図書館業務に緊張しながらも、気持ちの良い挨拶や返却作業など、テキパキ・キビキビと取り組んでいました。今まで知らなかった「図書館のよこ顔」に触れた子どもたち。今後とも図書館と楽しくおつきあいくださいね!



●本と出会う楽しさを伝える『子ども司書』

講座の最終回は受講生による『おはなし会』でした。講座での学びをいかして、一人ひとり懸命に取り組みました。子ども司書手作りの『おすすめ本とポップ』の展示も各館で行い、大変好評でした!

●毎月23日は『家庭読書の日』～本でつながる家族時間～

大人も子どもも一緒に好きな本を読み、読んだ本について家族で話す、楽しい『家読(うちどく)』タイムを過ごしてみませんか。

図書館で配布している年齢別おすすめ本リスト【よもよも】は、本選びの頼もしい道しるべ。ぜひ、ご活用ください。

☎ 中央図書館 TEL 82-7100



アニメサザエさんとともに50年

—エイケン制作アニメーションの世界—

会期：令和3年3月27日(土)～5月30日(日)

昭和の高度成長期に、テレビの普及に併せて大きく成長した日本のアニメーション。そのテレビアニメーション界を牽引してきたアニメ制作会社「エイケン」が、創業50周年を迎えました。これを記念して、これまでに制作されたアニメーション39作品を取り上げて、エイケン50年の歩みを紹介する展覧会を開催します。

エイケンは、その前身時代から「鉄人28号」、「エイトマン」、「キャプテン」、「ガラスの仮面」など、数多くの名作アニメーションを生み出してきました。中でも日本屈指の長寿アニメ「サザエさん」は、エイケンが当初から手がけて、現在も日本中に愛され続けています。

本展では、動画の一部や原画・セル画に加え、設定資料など数多くの貴重な資料をご覧いただけます。エイケンアニメーションの世界をたっぷりとお楽しみください。

- 会場：丹波市立植野記念美術館 3・4階展示室
 - 開館時間：午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
 - 休館日：月曜日（5月3日〔月〕は開館）
 - 観覧料：一般800円、大学・高校生400円、小・中学生200円
- ※20名以上団体割引、ココロンカード利用可、小学生未満無料

☎ 植野記念美術館 TEL 82-5945

©光プロダクション・エイケン ©平井和正・桑田二郎/TBS ©白土三平©エイケン ©長谷川町子美術館 ©1976 庵原哲・エイケン ©ちばあさお・エイケン ©美内すずえ/エイケン ©植田まさし/植田プロダクション・エイケン ©うえやまとち/講談社・エイケン ©いがらしみきお/竹書房・フジテレビ・エイケン

◇ご来館の際には、マスクの着用や手指の消毒など新型コロナウイルス対策へのご協力をお願いいたします。

◇新型コロナウイルス感染拡大状況により、日程が変更又は中止となる場合があります。

編集・発行/丹波市教育委員会 〒669-3198 兵庫県丹波市山南町谷川1110番地 TEL.0795-70-0810(代)